



いのぼ～る  
の彼女

# 伊野-INO-



いのぼ～る

～や<sup>み</sup>つて未<sup>ら</sup>来こい！ ENO 暮らし2030～

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5  
Tel (0853) 69-1526 fax (0853) 69-1530  
E-mail : ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

ホームページ、Facebook等随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。フォローよろしくお願ひします。Facebookの登録等、お問合せはコミセンまで。

伊野コミュニティセンター  
ホームページ



伊野地区自治協会  
ホームページ



伊野地区自治協会  
Facebook



伊野地区自治協会  
Instagram



一伊野地区の人口—  
(R2.11月末現在)

男性… 589人  
女性… 650人  
合計… 1,239人  
世帯数… 416世帯



12/13

## 伊野ベーション

祈って伊野って人生ゲーム

～式の型～

お待たせしました。1年ぶりの伊野ベーション！大人も子どもも大学生も、人と人の間隔をとったソーシャルディスタンスが大切なこの時期。でも、心は密になって運を勝ち取ろう！「祈って伊野って人生ゲーム」の第2弾。狙った数字を射止められるかは運次第。チームで力を合わせマスのお題をクリアしてポイントゲットだ！縄跳びに玉入れ、背中文字ゲーム…ミニゲームもありとっても盛り上がったね！



# やって未来こい!通信

## PartIII 「教育部会」編

世界に  
一つだけの  
リース作り

12/6

教育部会では、「伊野で人生を遊ぼう、学ぼう」のキャッチフレーズのもと、提案があった生き物マップづくりからスタートすることにしました。

伊野川の生き物調査は雨天のためにできませんでしたが、西地合の海での調査については広報誌11月号に掲載した通りです。

今回は第2弾として、親子でクリスマスのリース作りを計画したところ、21人の参加がありました。講師にもものづくりの達人、筑後さん夫妻をお招きし、リースづくりだけではなく、木工細工も教えていただきました。リースの土台が見えないように葉などを使い、しっかり盛り上げた方が良いというアドバイスのもと、松ぼっくり、どんぐりや綿の実、リボンや玉などを使い、世界に一つだけの素敵なリースが出来上がりました。



木工細工では、材料に黒柿などを使い、やすりでしっかり磨いてつや出しをし、素敵なブローチや髪留めが出来上がり、皆さんに喜んでいただきました。

来年も生き物調査をはじめ、リース作りや木工細工など、要望を聞いて楽しい活動を計画していきたいと思います。

(教育部会部長 山崎 啓子)



地域おこし協力隊

— 福島 沙織さん連載 —

### 第4回

先日、とある研修に参加しました。自己紹介の場で、「出雲に来て食べた、一番おいしかったものは？」という質問がありました。そこで私が真っ先に頭に思い浮かんだのは、「伊野のお餅」でした。よっ得!?伊野いちでも大人気の、あの丸餅です。私はお餅が大好きで、小さい頃からよく食べていましたが、伊野のお餅は本当においしい。私が一番おいしいと思うのは、両面を焼いて、何もつけずにそのままパクリ。お餅のうまさを一番ダイレクトに感じられて、本当に幸せな気持ちになります(ああ、これを書いている今も食べたい)。

お餅だけじゃなくて、伊野にはおいしいものがたくさんあります。地域おこし協力隊の私に対して、「何か新しく伊野の特産を考えてよ!」と声をかけてくださることが、たびたびありますが、「何か新しいもの」ではなく、伊野にすでにあるおいしいものにスポットライトを当てる方が、はるかに近道だし確実に、PRもしやすいと思います。夏の間、よっ得!?伊野いちで大好評だったところてん。今の季節なら、柚子の砂糖漬け。来年には、伊野の梅で梅干しを仕込みたいと思っています。そういった伊野のおいしいものを、少しずつですが、伊野の外にも広めていく活動をしていきたいと思っています。

ちなみに、故郷の秋田も餅がうまい地域です。12月28日に祖父の家で餅つきをするのが毎年恒例で、幼い頃から年末の楽しみでした。秋田の餅は角餅を焼いて、鶏肉で出汁をとった醤油ベースでお雑煮にします。今年は、平田や伊野のお雑煮も食べてみたいと、今から楽しみです。砂糖醤油で食べるのもおいしいですね。



## 第4回 まちづくりフォーラム

山崎亮さん講演会開催

11/18

講師 コミュニティデザイナー 山崎 亮さん 参加者40名



将来ビジョン実現に向けて質問に答える山崎亮さん



ほてほて茶をふるまう常松美栄子さん(大谷)

YouTube 山崎亮 検索

※伊野やほてほて茶のことが紹介されています。ぜひご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮についてお願い

## 感染された方等への差別や偏見をなくしましょう!!

新型コロナウイルス感染症は誰もがかかる可能性があります。  
こんなときだからこそ!!



1人1人が相手を思いやる気持ちを忘れずに、  
冷静な対応をお願いします。

私たちが闘う相手は、**新型コロナウイルス**であり、  
感染された方ではありません。

- ・ 感染された方等に対する誹謗中傷や患者の発生に関する噂を拡げることは、厳に慎んでください。
- ・ 検査で陰性が確認され、経過観察を終えた方は、他の人に新型コロナウイルスをうつすことはありません。
- ・ 差別や偏見が広がると、『新型コロナかな』と思った時に声を上げづらくなり、結果として、感染症拡大防止の妨げになります。

退院された方がこれから地域で生活していくためには、  
地域の方の協力が必要です。

### \* 感染された方が退院するまでの流れ \*

- ・ 厚生労働省が定める基準を満たした場合に退院することになります。
- ・ 退院後は、活動に制限はなく、買い物等の日常生活を送ることができます。
- ・ 念のため、退院後4週間は健康状態の確認や一般的な感染症対策を徹底して過ごされます。
- ・ 退院された方に対しては、出雲保健所から健康状態の確認を行います。

### \* 感染症対策を徹底しましょう \*

- ・ 『手洗い』と『マスク着用を含む咳エチケット』を徹底してください。
- ・ こまめに換気を行いましょう。
- ・ 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- ・ 毎朝、健康チェックを行い、発熱や風邪様症状がある場合は無理せず、自宅で療養しましょう。

ご不安なことがありましたら、

しまね新型コロナウイルス感染症『健康相談コールセンター』 ☎0853-24-7017

島根県出雲保健所・出雲市

にご相談ください。



# 赤ちゃん紹介



くらはし ゆうご  
**倉橋 侑吾 くん**



令和2年11月12日生まれ  
父：幸生さん、母：亜矢美さん  
(金森町内)

—ご両親から侑吾くんへのメッセージ—  
2人のお姉さんと仲良く、優しい子になってね。



はらだ しゅんや  
**原田 竣陽 くん**



令和2年11月25日生まれ  
父：周一さん、母：幸子さん  
(大畑町内)

—ご両親から竣陽くんへのメッセージ—  
男の子2人兄弟になりました。  
揃って仲良く遊ぶ姿が早く見たいです。

## 表彰

### 松本年正さん (東地合町内)

松本さんは杜氏として籾上清酒で造りに従事され輝かしい経歴を持つ一方、日本酒造杜氏組合連合会理事として酒造り技術の発展に貢献され、このたび黄綬褒章を受章されました。松本さんは家族や先輩、仲間、地元の方への協力のお陰だと感謝の意を表しておられました。  
受賞おめでとうございます。



## 伊野ふるさと探訪 Part22

元は高山町内にあったようですが、天正元年(1573)に現在地に遷座しました。伊努神社の祭神の夫の赤衾伊努意保須美比古佐和気能命が祭神ですが、昨年八幡宮を合祀し応神天皇も祀られています。境内社は社日社・御碓社・稲荷社があります。現在地は森という地名ですので、地元では森の宮と呼ばれています。

### あしたか 「蘆高神社」



(郷土誌研究会 常松 士郎氏)

## コットンピクニック&ご飯のお供グランプリ出店!!

木綿街道を活性化させようと木綿街道醸造まつりが開催され、伊野地区から5店舗が出店。この日は天候にも恵まれ、大勢の人出で賑わいました。



本格ドリップコーヒー「Drip Yamasaki」



キーマカレー「ふるさと食堂 奏」



野菜販売「よっ得!伊野いち」  
「SPIRA FARM」

\*その他、みそや栗おこわの販売「和の会」、中華料理「翠苑」も出店されました。

## 平田高校1年生来館

地域協働学習の一環で、平田高校1年生が伊野コミセンに来館。伊野地区のまちづくりへの取り組みについて、多久和自治協会会長および地域おこし協力隊の福島沙織さんから話を聞き、学ばれました。



## 環境美化活動御礼

コミセン玄関前のプランターに三ノ谷げんき会の皆さんが花の苗を植えてくださいました。皆様のご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## コミセン年末年始 休館のお知らせ

**12/29(火)  
~1/3(日)**

上記の期間中コミセンは休館となります。なお、貸館も不可ですのでご了承ください。



## 編集後記

今年はコロナ禍のため多くの行事が中止となりましたが、新しく始まった事業や出来事もたくさんありました。4月には地域おこし協力隊の福島沙織さんを伊野に迎え、食文化を中心とした新たな活動もスタート。その他「やって未来こい! ENO暮らし2030」のビジョンの下、各部会の活動も実践されました。来年もコロナ禍がどうなるかわかりませんが、新しい生活様式の中でも出来ることを実現しながら伊野暮らしを楽しんでいきたいですね。本年も皆様のご支援・ご協力に感謝致します。良いお年をお迎えください。